

民主代表選 来月18日に

細野氏が出馬表明



代表選出馬を表明する細野氏 (17日、衆院第1議員会館)

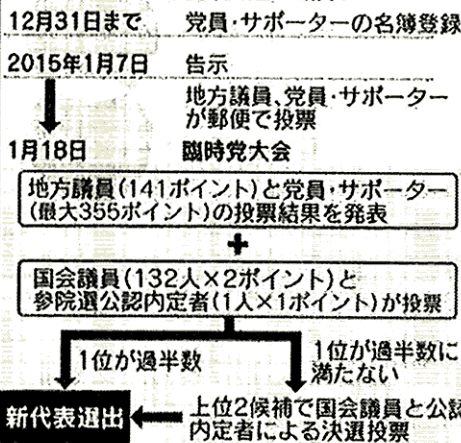
民主党は17日の両院議方議員や党員・サポーター総会で、衆院選で落選した海江田万里代表の後任を決める代表選の日程を来年1月7日告示一同18日投開票と決めた。地

方議員や党員・サポーター約23万人が郵便投票に参加し、党再建や野党協力をめぐる代表選の日程のあり方などが争点となる。細野豪志元幹事長(43)は17日、国会内で

記者団に「私自身が出馬して挑戦する決意をした」と表明した。

代表選は党所属国会議員(132人)と参院選の公認候補内定者(1人)、地方議員や党員・サポーターが投票する。全体の5割近くを占める党員・サポーター票の取り込みが勝敗を左右する。新代表の任期は「就任から3回目の9月末」

民主党代表選の流れ



と規定され、今回は2017年9月までになる。新代表には岡田克也代表(61)や前原誠司(52)を推す声も

ある。立候補には所属国会議員20人以上の推薦が必要となる。

細野氏は支持グループのうち、17日は10人

が国会内に集まった。会合後、記者団に出馬の考えを示すとともに「日本の民主主義を守るためには野党がきちんとしないといけない。その中心は民主党だ」と語った。野党再編については「まず民主党としてこういう旗を掲げると鮮明にした」と言及した。

前原氏は10人強の支持グループの大半が集まり都内で会合を開いた。出馬を促された前原氏は終了後、記者団に「どうすれば党を再生できるのか、自分の役回りは何なのか。しっかり考えた上

で仲間と相談して決めた」と述べた。

野党再編を巡り細野、前原両氏はともに民主党を軸とした結果に積極的な立場だ。細野氏は17日、国会内で前原氏と会談し「今回は挑戦させてもらいます」と報告した。野党再編に前向きな長島昭久元防衛副大臣は、候補1本化が必要だとの考えを前原氏に伝えた。

岡田氏は再編論とは距離を置いており、民主党を解党して新党結成をめざす動きを警戒する議員を中心に立候補への期待がある。